

2001→2026

# 人間市文化創造アトリエ

開館 25 周年記念





# AMIGO! 25th Anniversary

|   |    |
|---|----|
| アミーゴの未来図                                    | 01 |
| 開館25周年にあたり<br>杉島理一郎入間市長<br>水村雅啓アミーゴ館長・代表理事  | 03 |
| AMIGO!開設までの沿革                               | 04 |
| AMIGO!History                               | 05 |
| アミーゴ事業の紹介                                   | 11 |
| アドバイザー紹介<br>国府弘子/池田綾子                       | 12 |
| 令和3年度ふるさとづくり大賞受賞<br>評価された取組プロセス<br>受賞団体記事紹介 | 13 |
| 2010年機関誌「市政」特集記事より<br>木下博元入間市長              | 15 |
| 2025年度 AMIGO!運営方針                           | 17 |
| 利用状況/運営体制・状況                                | 18 |

## アミーゴの未来図

アミーゴは、古い木造建築の良さを生かし「市民の芸術文化活動の場」「地場産業の紹介の場」「市民の憩いの場」の三つの利用方針のもと、市民の参画による地域文化の創造に寄与することを目的に設置されました。その意義をアミーゴのスタッフで何度も話し合い、言葉だけでは表現しきれない「想い」を「アミーゴの未来図」(2021.8完成)として、イラストレーターの岡山伸也氏に描いていただきました。「未来図」の実現に向けて、訪れた方々が幸福感に満たされる「地域の宝物」になれるよう努力してまいります。

### 《岡山伸也》

1982年、茨城県結城市生まれ。創形美術学校卒業。画家、イラストレーター。子どもや動物を中心とした、温かみのある幻想的な世界を、繊細な筆致で描く。主な絵本作品に『とおいほしでも』(文:内田麟太郎/絵本塾出版)、『ゆきわたり』(文:宮沢賢治/河出書房新社)などがある。



AMIGO!  
25th Anniversary

## 入間市文化創造アトリエ 開館25周年にあたって

入間市長

杉島 理一郎



入間市文化創造アトリエAMIGO!は、入間の文化創造と情報発信の場として開館してから、今年で25周年を迎えます。これまでの間、多くの市民の方々の参画による事業が企画運営され、文化によるまちづくり、地域づくりが実践されてまいりました。これもひとえに、水村雅啓館長をはじめとして、4期に渡り本市指定管理者の先駆的なモデルとして、安定かつ創造的な運営を継続してこられた入間市文化創造ネットワークの皆様のご尽力のおかげと心から感謝申し上げます。

平成13年の開館より「文化芸術で喜びと希望を感じるまちづくり」という運営理念のもと、特に文化芸術という面から心豊かでいられる「未来の原風景」の創造に貢献してきています。さらには令和5年にアミーゴのパーパスも

作成され、より一層入間市との歩みを確かなものとしています。皆様方には、開館当初より施設のあり方や事業の企画運営から、文化の創造に至るまで、市民主体の運営を行う仕組みづくりを模索し、これまでご努力いただきました。強みを生かした多様な事業展開と市民運営によって、文化を核としたまちづくり、地域発展、活性化の流れを造っていただいていると実感しております。

今後も自立した市民力によって、創造的な新しい市民文化が生み出されるよう、その環境づくりに努めるのが行政としての責務と考えております。これまでの成果を礎に、今後のさらなる飛躍を祈念申し上げ、25周年にあたっての挨拶といたします。

AMIGO!  
25th Anniversary

## 開館25周年を 迎えて

入間市文化創造アトリエ・アミーゴ 館長  
NPO法人 入間市文化創造ネットワーク 代表理事

水村 雅啓



入間市文化創造アトリエAMIGO!は、平成13(2001)年2月、地域の歴史と文化を継承する施設として開館しました。そして今年25周年を迎えましたことは、ひとえに関係者の皆様のご支援、ご協力の賜物と、心から感謝申し上げます。

アミーゴは、数多くの文化施設とは異なり、地場産業である繊維産業の施設をリニューアルし、市民参画による運営を基本として、地域に根ざした文化創造活動を行うという使命をもって誕生しました。アミーゴの魅力と強みは、歴史を刻む個性的な施設と、文化芸術がもたらす精神的な豊かさの創造にあります。スタッフは、この魅力と強みを企画力でさらに磨きをかけ、訪れる方々に幸せを実感できる、暮らしやすいまちづくりを目標に活動しています。今後も、その実現に向けて努力邁進していく所存です。

この25年の間での大きな出来事の一つに、新型コロナウイルス感染症の影響がありました。まん延期には、館の利用休止など、文化施設としての機能は大きく制限されました。そのような状況の中にあっても、無観客コンサート、SNSを活用したアマビエイラスト募集と展示など、メディアに取り上げられるほどの活動を行いました。こうした成果が評価され、令和3年度には総務省主催「ふるさとづくり大賞」を受賞する栄誉にも浴することができました。

今後もアミーゴは、市民が心身ともに健康で幸せに暮らせる、ウェルビーイングの創造に向けた「新しい価値」を生み出す施設となっていきたいと考えます。今後とも、皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

## AMIGO! 開設までの沿革

- 1900 明治33年3月15日 県内最初の本格的な化学染色工場「人間染工株式会社」が平岡甚蔵ら地域の織物業者によりこの地に設立される
- 1916 大正5年10月15日 人間染工(株)の工場を買収し、武蔵織物同業組合「元加治整理工場」が建設される
- 1925 大正14年10月 同工場内に染色工場を一棟新設し併置。自動シルケット機を導入し操業同時に工場名を「**仏子模範工場**」と改称。大正15年11月、捺染部も新設する
- 1936 昭和11年1月 所沢織物工業組合に改組同時に「**広幅整理工場(仏子工場)**」を設営し広幅織物の振興を図った
- 1937 昭和12年4月 組合により「**埼玉県仏子染織指導所**」を誘致その後、**埼玉県繊維工業試験場**(S31年)、同入間支場(S58年)と改称、改組される
- 1939 昭和14年9月 建物完成。埼玉県に土地(3,356㎡)、建物を寄付建築は現入間市牛沢の故 関根勇次氏による
- 1948 昭和23年4月7日 高松宮殿下ご来所
- 1960 昭和35年5月 繊維試験室新築(現アミーゴ染色工房として使用)
- 1964 昭和39年11月20日 皇太子殿下、同妃殿下(現上皇・上皇后両陛下)ご視察
- 1969 昭和44年3月 開放試験室新築(現アミーゴ織物工房として使用)
- 1995 平成7年9月 **所沢織物商工協同組合** 新事務所(試験場の隣)を竣工
- 1998 平成10年3月31日 埼玉県繊維工業試験場入間支場が閉鎖県内7ヵ所の各種工業試験場は3ヵ所に集約し、工業技術センターとして再出発試験場入間支場は、埼玉県北部研究所(熊谷市)に統合
- 平成10年4月1日 埼玉県は試験場の土地建物を入間市に管理移管施設を文化創造アトリエとして再生、活用する方向へ



埼玉県仏子染織指導所 S14竣工



試験場(左)と組合仏子整理(右) S47頃

### 仏子模範工場

大正14年10月、元加治整理工場が「**仏子模範工場**」と改称。この工場の設立は、整理付き販売の有利性ととも染色の統一や大量染色による価格の低廉化、当時流行したほぐし模様の捺染部を新設するなど、常に製品の改良発達に努め、所沢織物の名声を高めました。その後、織物整理工場「**仏子整理**」へと発展します。

### 仏子染織指導所

製品技術の向上を目指し、組合仏子模範工場内に設置された施設です。設置にあたり、当時組合理事長で県議会議長でもあった平仙レース社長平岡仙太郎の尽力は多大なものでした。60余年の長きにわたり、繊維関係者がこの施設で先進技術を学び、地元繊維産業の発展に貢献しました。建物は、現在のアミーゴに継承されました。

### 所沢織物商工協同組合

最初、明治23年10月入間郡織物業組合が設立され、その後、武蔵織物同業組合が36年に成立。事務所は最初川越に、その後所沢に移りました。41年所沢市場に集散する織物のみ組合になり、昭和24年、所沢織物商工協同組合に改組し、46年4月に事務所は入間市仏子へ。平成7年、現在の新事務所が竣工。(現アミーゴ並び)

1997 2月 埼玉県から工業試験場の統廃合が正式に示される

7月17日 繊維工業試験場入間支場跡地対策連絡会議が開催され、跡地の利用について意見交換がなされた(県、市、所沢織物組合、商工会)

12月 埼玉県、跡地を入間市に無償譲渡(一部、有償で貸付)する方針を提示



1998 3月 跡地利用の基本方針がまとまる  
●市民の芸術文化活動の場 ●地場産業の紹介の場 ●市民の憩いの広場

3月31日 埼玉県繊維工業試験場入間支場、閉鎖  
試験場の機能は熊谷市の工業技術センター北部研究所(現・産業技術総合センター)に統合され、4月1日より再スタート

8月1日・2日 跡地利用についてオープントークが実施される。既存の建物を生かし、地場産業振興、市民芸術文化活動の場としての利用を基本方針に自由で創造的な意見を求めた。参加者92名・意見提案31件

11月 施設整備基本計画決定

1999 9月~ 建物部分工事。工事費約2億6千万円  
2000年9月 既存建物をリニューアルし、スタジオを新築

2000 8月~12月 公園部分工事  
工事費約5千4百万円

## 2001

2月1日 入間市文化創造アトリエ AMIGO!開館

3月24日~31日 オープンイベント開催

4月 市民参画による事業運営がスタート  
船場保行館長ほか、市民ディレクター4人、アドバイザー3人。初年度ディレクター提案のマンスリーライブを定期開催



2002 1月14日・15日 ディレクターはじめ公募市民で金沢市民芸術村視察

4月 ディレクター8人となる。ひとづくり、魅力づくり、芽づくり事業を企画(その後、2005年4月にまちづくり事業を加え4事業とする)

## 2003

2月6日 「さわやかふるさと訪問」で土屋義彦埼玉県知事(当時)来館



4月1日 ディレクターを10名にする(総務部会、音楽部会、表現部会、アート部会、舞台・音響部会)

## 2004

2月 2003年彩の国さいたま景観賞 奨励賞を受賞

4月1日 水村雅啓館長就任

11月 指定管理者制度の勉強会を開催し 公共文化施設の市民運営について研究

## 2005

10月3日~5日 (財)地域活性化センター主催による「地域活性実践塾」をアミーゴで開催 全国の塾生と共にアミーゴスタッフも学ぶ

## 2006

3月11日 開館5周年記念事業として 国府弘子さん(アミーゴアドバイザー)と 渡辺真知子さんのコンサート等を開催

3月30日 アミーゴの事業を支えるディレクターと市民スタッフ81名で『入間市文化創造ネットワーク』を設立

5月 広報誌『赤いこぎり屋根』創刊

8月15日 入間市制施行40周年記念事業「アミーゴアートプラットホーム2006」開催  
・19日~27日

11月3日 入間市制施行40周年記念式典 第二部「元気な入間の5年間とこれから」に制作協力

11月18日 入間市文化創造ネットワークがNPO法人設立総会開催 川田弘之代表理事が就任(県より認証を受け平成19年2月9日法人設立)



| 1997   | 1998  | 1999  | 2000   | 2001   |
|--|---|---|--|--|
| <b>世界</b><br>●香港の中国への返還<br>●京都議定書が採択                                     | <b>世界</b><br>●インド、パキスタンが地下核実験<br>●米英軍がイラクを大規模攻撃 | <b>世界</b><br>●NATOがコソボ問題でユーゴを空爆<br>●欧州に新通貨ユーロ誕生   | <b>世界</b><br>●シドニー五輪<br>●初の南北朝鮮首脳会談開く<br>●ロシア大統領にプーチン氏当選   | <b>世界</b><br>●米同時多発テロ<br>●iPod発売                                       |
| <b>日本</b><br>●消費税率5%に<br>●山一証券自主廃業<br>●長野新幹線開業                           | <b>日本</b><br>●長野冬季五輪<br>●小淵恵三内閣発足<br>●和歌山毒物事件   | <b>日本</b><br>●脳死臓器移植、初の実施<br>●男女共同参画社会基本法が成立      | <b>日本</b><br>●三宅島噴火<br>●森喜朗内閣発足                            | <b>日本</b><br>●愛子様ご誕生<br>●文化芸術振興基本法公布・施行<br>●小泉純一郎内閣発足<br>●Suicaがサービス開始 |
| <b>埼玉/入間</b><br>●さいたま川の博物館(寄居町、現川の博物館)、さいたま文学館(桶川市)開館<br>●FMいるま(現FM茶笛)開局 | <b>埼玉/入間</b><br>●県営「彩の森入間公園」オープン                | <b>埼玉/入間</b><br>●合角ダム(現秩父市・小鹿野町)竣工<br>●リサイクルプラザ竣工 | <b>埼玉/入間</b><br>●さいたまスーパーアリーナ開設<br>●入間市、中国奉化市と友好都市締結議定書の調印 | <b>埼玉/入間</b><br>●埼玉スタジアム2002開設<br>●市制施行35周年<br>●旧石川組製糸西洋館、国登録有形文化財に    |

| 2002   | 2003   | 2004   | 2005   | 2006   |
|--|--|--|--|--|
| <b>世界</b><br>●EUの共通通貨、ユーロ流通開始<br>●サッカーW杯日韓大会   | <b>世界</b><br>●イラク戦争開始<br>●新型肺炎SARSが中国などで大流行  | <b>世界</b><br>●アテネ五輪<br>●インドネシア・スマトラ島沖地震、インド洋で津波発生                        | <b>世界</b><br>●温暖化防止の「京都議定書」発効<br>●パキスタンで大地震、死者7万人    | <b>世界</b><br>●北朝鮮が核実験、ミサイルも発射<br>●中国経済が急成長                                 |
| <b>日本</b><br>●小泉首相と金正日総書記による日朝首脳会議により拉致被害者5人24年ぶりに帰国<br>●ノーベル賞ダブル受賞(小柴昌俊/物理学賞、田中耕一/科学賞)<br>●学校完全週5日制開始 | <b>日本</b><br>●「千と千尋の神隠し」米アカデミー賞<br>●自衛隊のイラク派遣決定<br>●日本郵政公社が発足<br>●個人情報保護法が成立<br>●東海道新幹線品川駅開業 | <b>日本</b><br>●新潟県中越地震<br>●韓流ブーム<br>●ニンテンドーDS発売<br>●拉致被害者の蓮池、地村、曾我さんの家族帰国 | <b>日本</b><br>●郵政民営化法成立<br>●愛知万博開催<br>●福知山線脱線事故       | <b>日本</b><br>●ライブドア事件<br>●秋篠宮家、悠仁様ご誕生<br>●第一次安倍晋三内閣発足<br>●トリノ五輪で荒川静香さん金メダル |
| <b>埼玉/入間</b><br>●国民宿舎入間グリーンロッジ閉館(2018年建物解体)  | <b>埼玉/入間</b><br>●さいたま市政令指定都市に<br>●県知事選、上田清司氏初当選<br>●豊水橋掛け替え工事完了開通                            | <b>埼玉/入間</b><br>●「彩の国まごころ国体」なぎなた競技会場に                                    | <b>埼玉/入間</b><br>●「コパト」が県のマスコットに<br>●狭山市との合併協議 廃止議案可決 | <b>埼玉/入間</b><br>●浦和レッズ Jリーグ初優勝<br>●市制施行40周年                                |

**2007** 4月1日 アミーゴの文化創造事業をNPO法人人間市文化創造ネットワークに委託  
アミーゴ将来ビジョンを策定

5月 劇団アミーゴ旗揚げ〔旗揚げ公演「ふたこおり」(作・演出 原田裕史)の上演は2008年1月26・27日〕

**2008** 4月1日 NPO法人人間市文化創造ネットワークがアミーゴの指定管理者となる  
ガーデンボランティア活動を立ち上げる

10月11~13日 第1回アミーゴ秋まつり開催

**2009** 2月21日 京都大学経済研究所より  
「産業施設を活用した地域活性化の現状と課題」の事例としてアミーゴが取り上げられ、京都大学のシンポジウムに館長がパネラーとして出席

7月15日 埼玉縣市町村文化担当者連絡会に出席し、運営事例の発表をする

**2010** 1月22日 第1回アミーゴ楽笑寄席を開催

8月25日 上田清司埼玉県知事(当時)が「とことん訪問」でアミーゴに来館

11月20日 開館10周年記念事業市民オペラ「魔笛」を入間市産業文化センターで開催

**2011** 2月5日 開館10周年 記念式典挙行

2月6日 開館10周年記念ライブ「国府弘子スペシャルトリオ」開催


3月11日 東日本大震災発生  
施設への影響は無かったが、幾つかの事業が中止となる

4月24日 東日本大震災被災地支援チャリティコンサート開催。義援金161,090円

11月 (財)地域創造 邦楽活性化事業(箏)受託。市内小学校2校で実施



劇団アミーゴ旗揚げ公演「ふたこおり」



上田知事来館



開館10周年記念オペラ「魔笛」

**2012** 公共機関や団体からの見学・取材が年間14件に上る。アミーゴの認知度が高まる

6月1日 水村雅啓代表理事に就任

11月18日 木下博市長退任し、田中龍夫新市長就任

**2013** 2月 『アミーゴ将来ビジョンII』策定。今後5年間の方向性を明示

4月1日 NPO法人人間市文化創造ネットワーク、アミーゴの指定管理者2期目  
「文化芸術で歓びと希望を感じるまちづくり」を運営理念に定める  
アミーゴを撮影地にした映画、テレビ番組の利用が増える

11月30日 小鹿野歌舞伎招聘、文化交流を図る

**2014** 4月5日 第1回アートな春フェスを開催

11月 織物工房棟屋上外壁修理

**2015** 4月1日 入間市ふるさと納税が開始  
アミーゴでは、織物体験などの返礼品を登録した

4月29日 テレビ東京番組「L4YOU」が入間市を取り上げ、女優の菊池麻衣子さんがアミーゴの見学と織物工房で機織り体験をした

7月 アミーゴ中長期事業を考えるスタッフ研修会開催

1月 スタジオ屋根修理

2月6日 開館15周年 記念祝賀会挙行  
トリオ・フルールによる記念コンサート開催

6月25日 入間市制50周年記念『狂言 人間国宝山本東次郎の至芸』公演開催

11月19日 埼玉県NPO基金助成事業「絹と木綿のものがたり」を開催



小鹿野歌舞伎上演



第1回春フェス

影の国  
絹と木綿のものがたり  
フェアラム  
～新でつながるまちづくり～  
平成28年  
11月19日(土)

10:00-10:50  
11:00-11:50  
13:00-14:00

アミーゴ 10:00-10:50  
入間市 10:00-10:50  
11:00-11:50

11:00-11:50  
13:00-14:00

| 2007  | 2008  | 2009  | 2010  | 2011   |
|---|---|---|---|--|
| <b>世界</b><br>● 米国サブプライムローン問題が顕在化<br>● 原油価格高騰100ドル目前<br><br><b>日本</b><br>● 年金記録漏れ発覚<br>● 郵政民営化<br>● 新潟県中越沖地震<br>● 福田康夫内閣発足<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 狭山茶の生産用具225点が国の登録有形民俗文化財に<br>● TBSドラマ「夫婦道」放映 | <b>世界</b><br>● リーマンショック<br>● 北京五輪<br>● 米大統領にバラクオバマ氏初当選<br><br><b>日本</b><br>● 円高で12年ぶりに1ドル100円を突破<br>● Twitter、Facebookが日本版のサービス開始<br>● iPhone日本販売<br>● 麻生太郎内閣<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 県内に9つの地域振興センターを設置<br>● 三井アウトレットパーク入間オープン | <b>世界</b><br>● 北朝鮮、ミサイル発射22度目の核実験<br>● オバマ米大統領にノーベル平和賞<br><br><b>日本</b><br>● 裁判員制度スタート<br>● 民主党総選挙大勝<br>● 鳩山内閣発足<br>● 日経平均株価がバブル崩壊後の最安値に<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 市内の神社がモデルとなった映画「ホッタラケの島」公開<br>● 川越が舞台のNHK連続テレビ小説「つばさ」放映 | <b>世界</b><br>● チリ鉱山落盤事故<br>● アラブの春<br>● 北朝鮮が韓国延坪島砲撃<br><br><b>日本</b><br>● 小惑星探査機「はやぶさ」帰還<br>● 菅直人内閣発足<br>● 日本のGDPが中国に抜かれて世界3位に<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 入間市男女共同参画推進条例を制定・施行 | <b>世界</b><br>● 北朝鮮の金正日総書記死去<br>● ビンラディン容疑者殺害<br>● タイで大洪水<br><br><b>日本</b><br>● 東日本大震災とこれに伴う福島第一原発事故発生<br>● サッカードイツW杯で女子日本代表が初優勝<br>● 野田佳彦内閣発足<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 市制施行45周年<br>● 県駅伝中学生の部で野田中学校男子初優勝、全国大会へ |

| 2012   | 2013   | 2014  | 2015  | 2016  |
|--|--|---|---|---|
| <b>世界</b><br>● ロンドン五輪<br>● ロシア大統領にプーチン再任<br>● 習近平、中国共産党総書記に就任<br><br><b>日本</b><br>● 東京スカイツリー開業<br>● 第2次安倍晋三内閣発足<br>● アベノミクスを提唱<br>● 山本東次郎師、人間国宝認定<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 熊谷市の「歓喜院聖天堂」国宝に指定<br>● 木下博市長退任<br>● 田中龍夫新市長就任 | <b>世界</b><br>● フィリピン台風、死者行方不明7千人<br>● 中国「PM2.5」の汚染深刻化<br><br><b>日本</b><br>● 富士山が世界文化遺産に<br>● 2020年オリンピック開催地が東京に決定<br>● 日銀が物価目標2%を決定、無期限の金融緩和策を策定<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 選抜高校野球で浦和学院が初優勝<br>● 西武池袋線、飯能～元町中華街の相互直通運転開始 | <b>世界</b><br>● 香港で学生デモ「雨傘革命」を開始<br><br><b>日本</b><br>● 集団的自衛権容認<br>● 御嶽山が噴火57人死亡<br>● 消費税8%に<br>● 広島市土砂災害<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 細川紙など和紙がユネスコ無形文化遺産に<br>● 入間川遊歩道完成 | <b>世界</b><br>● 米国とキューバ国交回復<br>● COP21パリ協定採択<br><br><b>日本</b><br>● マイナナンバー制度開始<br>● 北陸新幹線開業<br>● 選挙権年齢を18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が成立<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 圏央道の県内区間が全線開通<br>● 入間市、ふるさと寄付金開始 | <b>世界</b><br>● リオデジャネイロ五輪<br>● オバマ米大統領、現職大統領として初めて広島訪問、原爆死没者慰霊碑に献花<br><br><b>日本</b><br>● 熊本地震<br>● 天皇陛下が退位の意向を示唆<br>● 富岡製糸場と絹産業遺産群の世界文化遺産登録決定<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 市制施行50周年<br>● 「いるティー」市新観光大使に<br>● 台風9号で市内に被害 |

**2017** 11月19日 アリット特別展「石川組製糸ものがたり」に協力  
劇団アミーゴが『青き蘭の記』(作・演出 原田裕史)を上演

11月～12月 埼玉県主催「障害者アートフェスティバル」をアミーゴで開催。アート展示のほかコンサート、東京パラリンピック1000日前イベントとしてポッチャや競技用車いすの展示も

**2018** 3月 入間市との協働事業として『まちかどコンサート』事業を開催  
年6回、まちなか(商業施設、公園、市役所など)でコンサートを実施

5月 『実現目標像』繊維産業の建物や歴史を活用し、日常的にアート体験ができ、施設を楽しむ人々で賑わう"地域のシンボル"を掲げる

7月18日 地域の繊維産業 所沢織物(協)とのコラボレーション事業『とこおり寄席』が始まる

**2019** 1月17日 『アートな春フェス2019』がBeyond2020プログラムに認証される  
(開催は4月)

6月 スタジオのピアノを新調〔カワイGX1〕

7月24日 アミーゴの前身 仏子染織指導所を誘致した  
平仙レース社長 平岡仙太郎の胸像をヤオコー入間仏子店  
(かつての平仙第二工場)角に織物組合と協働で設置、  
除幕式を挙げる

10月13日・14日 第12回秋まつりクラフトフェア、台風19号の影響で中止となる

11月24日 大宮ソニックシティで埼玉県芸術文化祭30周年記念  
「埼玉県芸術文化ふれあい交流フェア」が行われ、  
コマ作りワークショップで参加

**2020** 3月 コロナ感染症の拡大により7事業が中止  
コロナ感染症の影響で、5事業がチケット発売後、中止となる  
貸館利用は4-6月、翌1-3月に停止となった。利用申し込みのあった合計626件が  
利用不能となった。利用率は26.3%、利用人数は12,208人となる  
コロナ禍に対応した『アマビエアートプロジェクト』『無観客コンサート・演芸会』  
『マスクプロジェクト』などの企画を考案。テレビ、新聞などのメディアに取り上げられた

11月18日 田中龍夫市長退任し、杉島理一郎新市長就任




**2021** 4月 コロナ感染症による影響2年目  
利用時間は21時まで、収容人数は50～70%に制限。新しい生活様式に対応し、"遠くより住む地域を"テーマに  
近隣のファミリーを対象にした事業の立案。"文化施設の存在意義"を問い直した

8月 入間市出身の宮岡太郎監督による子どもたちが輝く青春映画  
「ラストサマーウォーズ」の制作に協力。入間市の観光資源をアピール

イラストレーター岡山伸也氏による『アミーゴの未来図』が完成

**2022** 4月 入間市ロケーションサービス事業の委託を受ける  
令和3年度ふるさとづくり大賞「総務大臣表彰」を受賞

10月9日・10日 秋まつりクラフトフェアが4年ぶりに開催される  
埼玉県芸術文化祭参加事業でもあり大野元裕埼玉県知事が来訪

9月～10月 人事院による国家公務員採用3年目のフォローアップ研修で研修生が  
施設見学で来訪。以降、3年間継続して来館した

**2023** 5月 アミーゴのパーパス「文化芸術と魅力的な施設の力で、幅広い  
人々の心の豊かさと幸福感を生み出し、地域発展の源泉となる」を策定

11月8日～12日 アミーゴ事業「糸ものがたり」を開催。織物のまちとして栄えた地域の  
歴史と平仙レースについて展示や講演会を行った

**2024** 4月 入間市SDGsパートナーに認定される。SDGsの達成に  
向けた取り組みを推進する入間市のパートナーとなる

6月15日 能登半島地震復興支援チャリティーコンサートを開催  
義援金372,575円を珠洲市へ送付

8月 ドイツからのお客様。昭和3年、平仙レースのレース機を  
組立に来日した技師カール・フランケさんの曾孫  
ヘルマン・イダロスさんが資料を頼りにアミーゴに来館した

**2025** 4月12日 第10回となる『アートな春フェス』を開催  
ブックマルシェを同時開催

8月 ホール、ギャラリーに空調設備が導入される

**2026** 2月7日 **開館25周年**記念祝賀会挙行  
国府弘子ライブ開催




| 2017  | 2018   | 2019  | 2020  |
|---|--|---|---|
| <b>世界</b><br>● ドナルド・トランプ米国大統領就任<br>● マレーシア空港で金正男氏暗殺<br><br><b>日本</b><br>● 上野動物園にパンダ「シャンシャン」誕生<br>● ニンテンドースイッチ発売<br>● 「森友問題」「加計問題」勃発<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 全国高校野球選手権で<br>花咲徳栄が県勢初優勝<br>● ドイツ・ヴォルフスラーツハウゼン市姉妹都市<br>提携30周年記念訪問団派遣 | <b>世界</b><br>● 史上初の米朝首脳会談<br>● 韓国最高裁、徴用工への賠償命じる<br>● ノールダム大聖堂火災<br>● 香港で学生らが大規模デモ<br><br><b>日本</b><br>● 西日本豪雨<br>● 18歳を成人とする改正法案が成立<br>● 働き方改革関連法が成立<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 熊谷市で市場最高気温となる<br>41.1℃を記録<br>● 杉山勝彦氏による、いるまのこどもへ<br>贈る歌「どこから来たの?」が完成 | <b>世界</b><br>● WHOがコロナウイルスについてパンデミック宣言<br>● 英国、EU離脱<br><br><b>日本</b><br>● 天皇陛下が即位「令和」に改元<br>● ラグビーW杯日本大会開幕、日本8強<br>● 消費税10%に引き上げ<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 16年ぶりに知事が交代し、大野県政スタート<br>● 映画「翔んで埼玉」が大ヒット<br>● 浪沢栄一が新一万円札の顔とNHK大河<br>ドラマの主人公に決定(4月、10月)<br>● 新時代「令和」の幕開け(5月)<br>● 台風19号が県内でも猛威を振るう(10月) | <b>世界</b><br>● WHOがコロナウイルスについてパンデミック宣言<br>● 英国、EU離脱<br><br><b>日本</b><br>● 新型コロナウイルス感染拡大に伴う<br>緊急事態宣言発令<br>● 東京2020オリンピック・<br>パラリンピック競技大会の延期、<br>新たな日程の決定(3月)<br>● 2020年11月に杉島市長就任 |

| 2021   | 2022  | 2023   | 2024   | 2025 |
|--|---|--|--|------|
| <b>世界</b><br>● ジョー・バイデン米国大統領就任<br>● タリバン、アフガン掌握<br><br><b>日本</b><br>● 大谷翔平、メジャーMVPに<br>● 東京五輪、原則無観客で開催<br>日本は史上最多58メダル<br>● 新型コロナウイルスワクチン接種開始<br>● 岸田文雄内閣発足<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 現深谷市出身の実業家、<br>浪沢栄一が主人公のNHK大河<br>ドラマ「青天を衝け」が放映開始<br>● 東京オリンピック・パラリンピック<br>県内会場でも競技を開催 | <b>世界</b><br>● ロシアにおけるウクライナ侵攻<br>● 世界の人口が80億人に到達<br><br><b>日本</b><br>● 安倍元首相が撃たれ死亡、9月に国葬<br>● サッカーW杯で日本代表熱戦<br>● 知床観光船沈没事故<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が<br>放映開始、畠山氏、比企氏をはじめ、県内<br>の武蔵武士出身地で盛り上がりみせる<br>● 内閣府より「SDGs未来都市」<br>に選定される | <b>世界</b><br>● WHOがコロナ緊急事態解除<br>● イスラエルによる<br>ガザ地区軍事行動<br><br><b>日本</b><br>● WBCで「侍ジャパン」が優勝<br>● 生成AI急速に普及<br>● 広島でG7サミット開催<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 4年ぶりに「入間万燈まつり」が開催<br>● 入間市茶畑テラス「茶の輪」<br>がオープン<br>● 西武池袋線の武蔵藤沢駅と<br>仏子駅、元加治駅が無人駅となる<br>● 賑わい、創出事業<br>「入間市駅前横丁」開催 | <b>世界</b><br>● トランプが米国大統領に再就任<br>● ローマ教皇フランシスコが死去<br>新ローマ教皇レオ14世の就任<br><br><b>日本</b><br>● バリ五輪<br>● シリア、アサド政権崩壊<br>● 韓国で戒厳令<br>● 能登半島地震発生<br>● 新紙幣 20年ぶり<br>● ノーベル平和賞 被団協が受賞<br>● 石破茂内閣発足<br>● 日経平均株価がバブル期<br>の史上最高値を更新<br><br><b>埼玉/入間</b><br>● 大阪・関西万博開幕<br>● コメ価格高騰、備蓄米放出<br>● 高市早苗氏が日本初の<br>女性首相に就任<br>● 入間市新庁舎棟の工事スタート<br>● 天皇陛下、全国植樹祭の式典に<br>出席するため、埼玉県を訪れ、<br>入間市の県茶業研究所を訪問 |      |

## アミーゴ事業の紹介

アミーゴの魅力と強みは、繊維産業の歴史を刻む施設と文化芸術がもたらす精神的な豊かさの創造にあります。アミーゴのパーパスと運営理念のもと、この地域で育まれた特性を生かした文化を創造し、文化事業と施設運営を行い、大ホールとは違ったコミュニケーション豊かで温かみのある「地域の宝物」を創ってまいります。それが、地域の「暮らしやすさ」の向上、「健康と幸せを実感できるWell-being City いるま」の原動力となると考えます。そのための事業を以下の通り行っています。



### 魅力づくり事業

- 地域やアトリエの魅力をアピールする事業
- 上質な文化芸術を鑑賞する機会を提供する事業
- 地域産業の魅力を発見する事業



1. テラスカフェ
2. オペラ公演
3. 落語会
4. 織物工房
5. 染色工房
6. 観月の夕べ 雅楽
7. おいしい朝コンサート

### ひとづくり事業



- 運営スタッフの養成・研修会、専門分野の学習事業
- 文化施設及び芸術分野の学習
- 次世代への文化芸術支援



1. スタッフ研修会
2. アート倶楽部
3. とびだせアミーゴ事業(アウトリーチ) 学校落語会
4. とびだせアミーゴ事業(アウトリーチ) 学校コンサート



### まちづくり事業

- 地域社会と積極的に関わりを持つ事業



1. パートナーシップ事業 駅前横丁
2. アートな春フェス
3. アミーゴ秋まつり
4. パートナーシップ事業 公民館落語会

### 芽づくり事業

- 文化芸術の創造活動に参加する事業
- こども・若者の文化芸術体験機会の提供事業
- こどもの心に残るプレイスづくり事業(こどもプロジェクト事業)



1. ハロウィンイベント
2. こどもアトリエ
3. こどもひろば
4. クリスマスイベント
5. 劇団アミーゴ公演
6. 保育園児こいのぼりプロジェクト



## アドバイザーの紹介

事業充実のための取り組みとして、アドバイザー制度があります。ディレクターとは別に、プロの目線から企画、意見、タイムリーな話題などをディレクターやスタッフに提供していただいています。現在、音楽のアドバイザーとして国府弘子さん、池田綾子さんのお二人にお願いしています。



### 国府 弘子

ピアニスト・作曲家・編曲家  
東京都出身

ソロピアノの演奏からオーケストラとの競演まで幅広く活動し全国的な人気を誇る「ピアノ界のスーパーレディ」。国立音楽大学ピアノ科を卒業後、単身渡米し、ジャズ界の重鎮バリー・ハリスに師事。ピアノと作曲両面でジャンルを越えた取り組みを行い、独自の国府ワールドを確立。音楽の喜びと情熱、そして安らぎにあふれる国府弘子独特のピアノの魅力は、聴く人々の心を捉え続けている。音色の贅を極めたソロアルバム「ピアノー丁!」に続き、岩崎宏美×国府弘子のデュオ作品「ピアノ・ソングス」を発表。

現在、川崎市市民文化大使、平成音楽大学、尚美学園大学客員教授。2019年川崎市文化賞受賞。



### 池田 綾子

シンガーソングライター・作詞家・作曲家  
東京都出身

2002年から音楽活動を開始。日本語の「響き」を大切にされた歌詞と旋律、クラシックの発声を基調とした独自の歌声を持つシンガーソングライター。心の音を紡ぐような音楽世界と透き通る声の音色は、ジャンルを超えて数々のコラボレーションを生み続けている。NHK「みんなのうた」、NHKBSプレミアム「にっぽん縦断こころ旅」のテーマソング、NHKニュースの番組音楽を手掛ける。また、小学校の教科書にも合唱曲を書き下ろしている。現在、やまなし大使、山梨県富士川町観光大使、環境省「つなげよう、支えよう、森里川海プロジェクト アンバサダー」。



# ふるさとづくり大賞 受賞

当法人が  
団体表彰を受賞

特定非営利活動法人人間市文化創造ネットワークは、総務省が主催する令和3年度「ふるさとづくり大賞」団体表彰を受賞しました。受賞者は20の団体と、個人表彰4名です。表彰式は、コロナ禍により2月14日(月)にオンラインによって行われ、金子恭之総務大臣(当時)よりお祝いの言葉を頂戴いたしました。



## 評価された取組のプロセス



本稿は、総務省地域力創造グループ地域振興室発行の「令和3年度ふるさとづくり大賞事例集」に掲載された、当団体紹介記事の一部を転載したものです。

当団体が、ふるさとづくり大賞受賞団体として、(財)地域活性化センター発行「地域づくり」(2022年3月号)に寄稿した内容を掲載します。

## 市民文化をリードする地域のシンボルづくり

—文化芸術で住み続けたいと思えるまちに—

受賞団体 団体表彰

埼玉県 特定非営利活動法人  
人間市 人間市文化創造ネットワーク



### 文化創造アトリエアミーゴの誕生

平成10年、県の施設である繊維工業試験場が人間市に移管され、新たに文化施設をつくる構想が浮上した。折しも、人間市では市民の間に各分野の創造意欲が高揚し、練習・稽古場の必要性を感じていた時であった。市民参加で施設をつくってほしいという意欲が高まり、官民一体となってこの施設の立ち上げが始まった。

「人間に越してきて9年、私の生活は随分多彩なものとなりました。それは、アミーゴの存在です。田舎の友達に自慢しています。スタッフの研究努力に感謝、今後の発展を祈っています」(85歳男性) こんな手紙をもらった。オープンから20年、地域に根差した施設に育ってきたと感慨無量だった。

当初、施設管理は市が行い、文化事業の企画運営は市民が中心となり運営した。市民から音楽、アート、演劇などの分野で造詣の深い方をディレクターとして募った。それは、市民ニーズをいち早く取り入れ、質の高い企画を立て、市民文化をリードする施設にならなくてはと考えたからだ。事業内容も公演、体験、学習、フェスティバルと幅広い形態に及んだ。開館から6年後には81人の市民スタッフが集まり、NPO法人人間市文化創造ネットワークを立ち上げることができた。「自分のまちは自分たちで創っていく!」という市民自治の意識が芽生え、人間市ならではの地域文化の香りのする表現活動の場ができていった。2008年からは指定管理を受託した。

### 「なくてはならない存在」に

「地域を楽しもう」「住み続けたいまちを創ろう」という思いを20年以上抱き続けてきた。市民のニーズは常に変化している。ディレクターやスタッフは時代の風を読みニーズを探り、常に自信をもってアイデアを考えている。地域との関わりは特に重要だ。文化施設は、地域社会と積極的に関わりを持って「地域のシンボル」となり、地域に「なくてはならない存在」となることが大切だと思っている。このため、アミーゴは、地域に住む人、企業、学校、団体と連携し事業を行っている。

### コロナの後に

新型コロナウイルス感染症の影響は文化施設にとって大きな打撃であった。しかし、それをバネに皆で新しい企画を出し合った。SNSを活用したアマビエイラストの募集と展示、アート展の出展者によるアーティストトークのYouTube配信などには大きな反応があり、公募事業には海外からの応募もあった。これらの成果は今後の事業展開に大いに役立っていくと思う。

コロナの影響によって、多くの人が家族を第一に考え、身近な地域に関心を寄せるようになった。これを機に、日曜野菜市、スタンプラリー、ハンドメイド体験など日常的に楽しめる企画も始めた。「アミーゴは次に何をしてくれるのかな」という期待の声が聞こえている。



## 2010年機関誌

### 『市政』

#### 特集記事より

全国市長会が発行する機関誌「市政」(2010年3月号)に木下博元市長がアミーゴについて寄稿した記事を紹介し(一部抜粋・編集)。

特集記事「既存ストックを新たなまちづくりに生かす」の中で、既存施設の有効活用の意義や、地域活性化に果たす役割などが示されており、非常に興味深い内容です。ぜひ一読ください。



## のこぎり屋根から十六角屋根へ 仲間たちの館・アミーゴ

### 県立繊維工業試験場の誕生

江戸時代、日光脇往還を中心に道路網が集散していたため、人々の交流は活発で、米・雑穀や地場産業である織物・繭などの「在方市」が立っていた。江戸時代後期からは狭山茶が江戸庶民の味として出荷され、現在県の特産品となっているが、その生産量の50%以上は本市で占めている。全国的には生産量は少ないが、味は日本一を自負し、全国茶品評会では毎年優秀な成績を収め存在感を示している。また繊維産業も盛んで、多くの織物業者が競い合ったが、栄枯盛衰の激しい業種であったため、先人たちはその安定経営のため苦勞を重ねたようである。昭和11年、業者は団結して繊維産業振興のための拠点施設設置を県に要望し、翌年には仏子染織指導所が設立された。さらに昭和14年には業者側は3356㎡の敷地ならびに事務所とのこぎり屋根の織物工場を建設して寄付することを申し入れた。その熱意に動かされた県は、昭和19年に県立繊維工業指導所と改称、その後この施設は、県西部地域の織物業の中核施設として、業界・業者の指導、新製品の開発、宣伝など幅広く活動して、繊維産業の発展に貢献した。この場所は私鉄駅から徒

元入間市長 木下 博



歩5分の地の利もあって、その利用は活発であった。しかし、戦後は重厚長大産業への国策転換や地方行革の時流から、県は出先機関の統廃合を行い、この試験場は廃止され、敷地と建物は市に無償譲渡されることとなった。平成10年のことである。

### 正当な継承者は

この情報が関係者に伝えられるや、繊維工業会を中心とした業界有志からは、先代が寄贈した土地・建物であるから繊維組合に無償で譲渡すべき、との声が上がった。そして、それが困難であれば、市は繊維工業発展のために有効に利用すべきとの強い要望が寄せられた。しかし、組合への譲渡はもちろん、繊維産業の現状と市の厳しい財政事情を考慮するとき、市としては繊維産業に特化した再利用計画を進めることは困難との見解を示し、業界側と粘り強い交渉が続いた。一進一退の結果、市側の計画に理解が得られたことから、再利用計画は大きく動き出すこととなった。

### 先人の思い、 市民の願いを生かした再利用計画

その後、市は直ちに「旧試験場利用検討会議」を設置し、市民による、市民のための「音楽、演劇活動などの文化活動の展開」と「地域産業(織物など)の振興」を図る場とする基本理念を決定した。その具体的なイメージは、この施設が先人の汗の結晶であり、繊維産業の語り部であることを尊重し、可能な限り原形を残すことを前提として、文化の創造と情報の発信基地、繊維産業の振興・発展を図る施設とした。その後、多くの議論を積み重ねて、パブリックコメントによる意見集約を図った結果、本館・スタジオ棟・サロン棟・ホール棟・織物工房棟・染色工房棟から成る改修計画が出来上がった。

### 市民自治の実験場

改修計画策定過程で多くの市民の参加を頂き、建設的意見を頂いたが、これらの人々の中から企画・運営などに熱意・関心を寄せられた方をディレクターに選任し、文化創造委員会を設置した。

改修工事は老朽建物の修繕や模様替え、ホール増築など難しい工事であったが、関係者の努力によって無事竣工した。竣工式典において私は「この施設は、市民自らが考え、行動し、人間の文化の創造と情報発信の場とすること、すな

わち市民自治の実験場となることを期待する」とあいさつした。そして、平成12年12月、文化創造アトリエ条例を設定し、条文中に指定管理者制度の規定を設け、市民自らが企画・運営に携われるよう、市民有志グループを管理者に指定した。その後、平成17年の地方自治改正による指定管理者制度に移行させるため、このグループにNPO法人の取得を求め、現在、積極的な事業経営が行われている。

### 未来に向けて

市民のこの施設に寄せる強い思いが本物であったことは、現在の活動状況によって一目瞭然であるが、当初は、市民が市民の利用を調整することに不平不満の声も多く、スタッフは大変苦勞が多かったようである。そのため時々、利用者会議などを開いて意見を聴取し、公平な運営について理解を求めたこともあったようだ。また施設に隣接してマンションがあることから、騒音などに対する苦情があったが、現在はイベントなどに積極的に参加を頂き、良好な関係が保たれている。

「念ずれば通ず」という言葉があるが、目的意識をしっかりと確認し、自主・自立の理念に共感する市民の醸し出す「民の活力」は、制約の多い「官の統治力」をはるかに凌駕し、真の自助社会構築の一石になることは間違いない。

# 2025年度 AMIGO! 運営方針

アミーゴでは、運営方針に基づき、目標の実現に向けて、ディレクター、事務局、スタッフが活動を行っています。



## アミーゴ事業の運営目標

### パーパス〈存在意義〉

文化芸術と魅力的な施設の力で、幅広い人々の心の豊かさと幸福感を生み出し、地域発展の源泉となる

### 運営理念

「文化芸術で歓びと希望を感じるまちづくり」  
～魅力あふれる文化創造発信施設を目指して～



### 実現目標像

日常的にアート体験ができ、施設を楽しむ人々で賑わう「地域のシンボル」

1

### 芸術的目標

質の良い事業を展開するために

- 個性ある事業・質の高い事業で文化芸術振興
- こどもに視点を置いた文化芸術振興
- 文化芸術で幸せを実感

2

### 社会的目標

地域社会に必要とされる施設となるために

- 楽しめる施設で地域活性化…コミュニティ、観光、カフェ
- 繊維産業建物の歴史的、文化的価値の利活用
- 市民運営で地域文化の創造

3

### 経営的目標

継続的な運営を実現するために

- マネジメント力向上
- 仲間づくりと人材育成

## 施設管理事業の運営方針

### 運営方針

- 効率的で実行力のある組織体制の確立
- 利用者の立場に立った柔軟な対応
- 管理面での利用者との協働を推進
- 景観整備と施設の維持
- 施設の更なる広報活動の推進

### 計画の実施

- 事務局会議・スタッフ会議の充実
- 利用者アンケートの実施
- 予防修繕と計画的維持活動
- 広報紙、ホームページ、Facebook、X(旧 Twitter)、Instagramの活用

SDGs  
Well-being

SDGs

関連ゴール目標



Well-being

健康と幸せを実感できるまちづくり

## 文化創造事業の運営方針

### 基本的な考え

- コロナ感染症の総括
- モノ消費からコト消費・トキ消費
- 地域課題への取り組み

### 運営方針

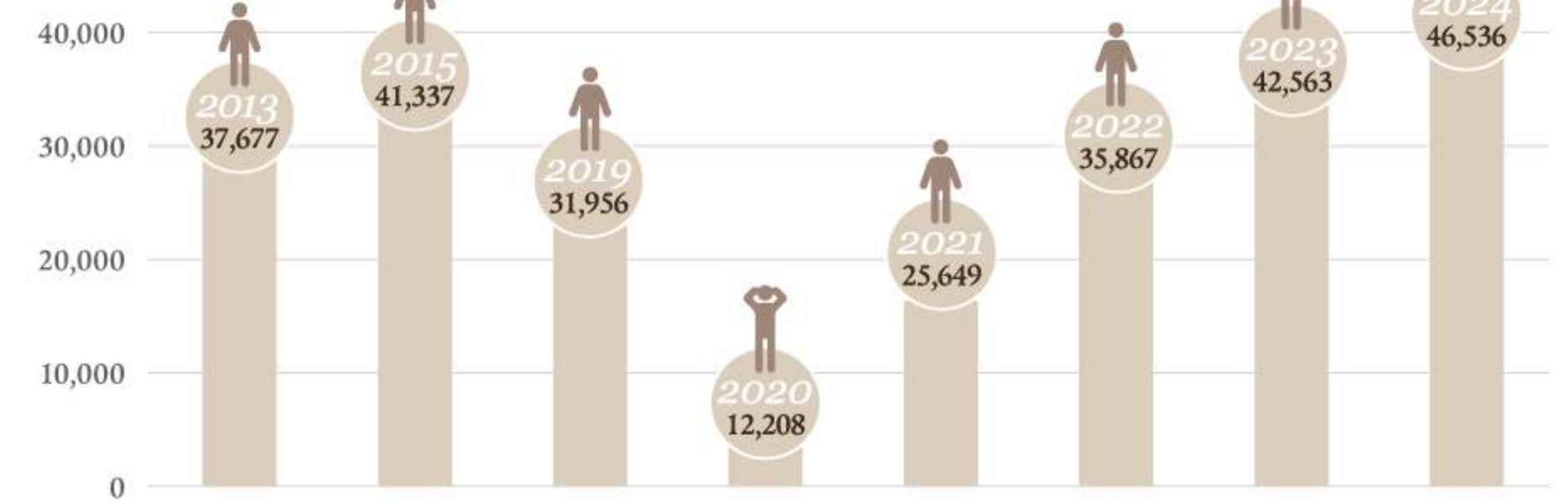
- まちづくり・コミュニティ
- 魅力発信/観光
- 芸術鑑賞
- ネットワークの構築
- 参加/体験
- 人材育成

### 事業の分類

- ひとづくり事業
- 芽づくり事業
- 魅力づくり事業
- まちづくり事業

## 利用状況

### ● 利用人数の推移



### ● 年度ごとの推移

| 年度              | 2013<br>H25       | 2015<br>H27       | 2019<br>R元年       | 2020<br>R2      | 2021<br>R3        | 2022<br>R4        | 2023<br>R5        | 2024<br>R6        |
|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 全体利用率           | 45.3%             | 51.7%             | 49.0%             | 18.2%           | 41.0%             | 50.8%             | 55.8%             | 55.0%             |
| 利用件数            | 2,954             | 3,048             | 2,918             | 1,470           | 2,433             | 2,903             | 3,084             | 3,091             |
| 利用人数<br>※内工房利用者 | 37,677<br>(2,057) | 41,337<br>(2,665) | 31,956<br>(2,918) | 12,208<br>(771) | 25,649<br>(1,524) | 35,867<br>(2,032) | 42,563<br>(2,250) | 46,536<br>(2,023) |

直近5年間は、新型コロナウイルス感染症に始まり、その対策とアフターコロナを考えた新たな文化施設の創造に向けた取り組みに追われました。令和元年度(2019)の後半に新型コロナウイルス感染症の国内流行が影響し、令和2年(2020)3～6月、令和3年(2021)1～3月が貸館

休止となり大幅に利用人数が減少しました。また、密を避けるということで、利用可能人数も50～70%に設定したことから利用人数、利用率に大きな影響がでました。事業内容、形態など試行錯誤を繰り返し、令和6年(2024)には、コロナ前の利用人数に戻り、利用率は高くなりました。

## 運営体制・状況

- 会員 正会員75人 サポート会員45人(事務局8人、ディレクター8人、サブディレクター6人)
- 総会 毎年5月に開催
- 理事会(理事14人) 年3回、運営方針の作成、収支計画など重要な案件の協議
- 監査会(監事2人) 業務及び収支についての監査
- プラン推進会議 年10回程度開催。事業の計画、報告、検証を実施
- 会員交流会 1月、5月に会員の親睦と情報共有を目的に開催
- 研修会 運営のための研修を随時開催。9月には一日研修旅行を実施
- 施設見学対応 様々な個人、団体の見学者にアミーゴの魅力を紹介





AMIGO is a symbol of happiness  
in the community.

## 入間市文化創造アトリエ AMIGO! 開館25周年記念

発行日 2026年(令和8年)2月7日  
発行者 NPO 法人入間市文化創造ネットワーク  
〒358-0053 入間市仏子766-1  
TEL 04(2931)3500 FAX 04(2931)3700  
編集・制作 出川印刷有限会社